

令和7年度 危険物取扱者試験 試験案内(青森県)

試験の申し込み方法は、書面申請（願書を記入する申請）と電子申請（インターネットによる申請）の2通りあります。
書面申請を希望する方は、この試験案内と一緒に受験願書及び受験料の払込用紙を**必ず**セットで入手してください。

お知らせ

- ①令和7年度中に事務所移転予定のため移転した場合の住所は、ホームページでお知らせします。
- ②令和7年度試験より、書面申請における試験手数料の払込方法が増えました。
受験願書の2次元コードを読み取ることで、クレジットカードやスマホ決済が可能となります。
ただし、1度でも決済が中断・失敗すると、その願書は使用出来なくなりますので、新たに願書を入手するか、従来通り消防試験研究センター専用の払込用紙による支払いで試験手数料を払い込んでください。

記載事項に対する同意

試験案内は、必ず最後までよく読み、記載された内容に同意した上で、お申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載された**すべての事項に同意したものとみなします。**

注意事項

- ①一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。
- ②受験に際し、疾病・負傷・障がい等のために、車イス、補聴器や拡大鏡の使用など特別措置を希望される場合は、願書受付期間内に必ず当支部へご連絡ください。試験当日のお申し出には応じられません。
また、希望する配慮事項によっては対応方法の回答にお時間がかかる場合や、会場によっては十分な配慮を提供できないことがあります。

個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

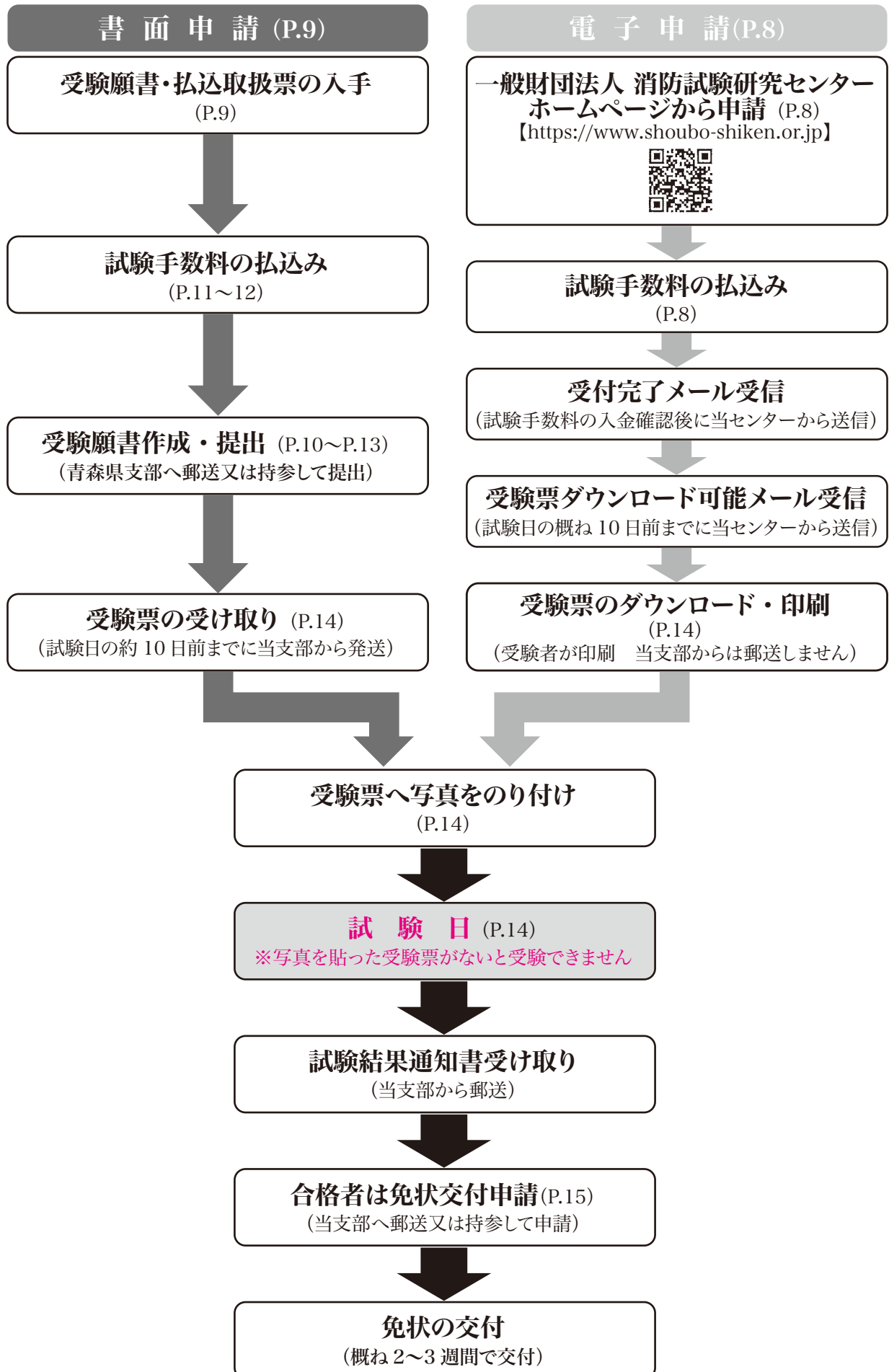
2 当センターは、利用目的の達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。



一般財団法人 消防試験研究センター青森県支部

受験手続きから合格後の免状交付申請手続きまでの流れ



危険物取扱者免状の種類及び資格を活かせる主な業種

危険物取扱者とは

消防法で定められている数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う工場、ガソリンスタンド、石油貯蔵タンク、タンクローリー等の施設では、必ず危険物取扱者を置かなければなりません。

◆危険物の種類

第1類(塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類などの酸化性固体)

第2類(硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウムなどの可燃性固体)

第3類(カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄りんなどの自然発火性物質又は禁水性物質)

第4類(ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類などの引火性液体)

第5類(有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物などの自己反応性物質)

第6類(過塩素酸、過酸化水素、硝酸などの酸化性液体)

危険物取扱者免状は、取り扱える危険物の種類に応じて、甲・乙・丙の3種類に分類されます。

※甲種又は乙種危険物取扱者が立ち会えば、免状を持たない者も危険物を取り扱うことができます。また、甲種、乙種又は丙種危険物取扱者が立ち会えば、免状を持たない者も危険物施設の定期点検を行うことができます。

甲種危険物取扱者免状・・・全類の危険物の取扱い及びその立ち会い・定期点検・保安の監督

全ての種類の危険物について高度な知識を有する者として、危険物の取扱いが必要なあらゆる場面において、安全確保の中心的な立場として活躍することが期待されます。また、その関連業種は多岐にわたります。

乙種危険物取扱者免状・・・免状に指定する種類の危険物の取扱い及びその立ち会い・定期点検・保安の監督

種別	危険物を用いる主な製品	主な業種
第1類 (酸化性固体)	除草剤、殺虫剤、肥料、金属表面処理剤	塗料工業、アンモニア工業、医薬品工業、肥料工業
第2類 (可燃性固体)	ゴム加硫剤、医薬品・農薬等の原料	合成高分子化学工業、医薬品工業、金属工業
第3類 (自然発火性物質 及び禁水性物質)	電池、合金、染料、石灰窒素	金属工業・アンモニア工業、肥料工業
第4類 (引火性液体)	自動車燃料、非常用発電機燃料 暖房用燃料、航空燃料、潤滑油、溶剤、塗料	石油化学工業、自動車修理業 燃料小売業(ガソリンスタンド等) 燃料輸送業(タンクローリー等) 食品化学工業、塗装業
第5類 (自己反応性物質)	ダイナマイト、染料、農薬、医薬品	医薬品工業、エネルギー工業
第6類 (酸化性液体)	紙・パルプ漂白剤、医薬品、肥料	紙・パルプ工業、医薬品工業、化学肥料工業

丙種危険物取扱者免状・・・第4類の危険物のうち、ガソリン、灯油、軽油、重油等の指定された危険物の取扱い・定期点検

総務省令で指定した第4類の危険物	自動車燃料、灯油、ボイラー燃料、潤滑油	燃料小売業(ガソリンスタンド等) 燃料輸送業(タンクローリー等)
------------------	---------------------	-------------------------------------

※他にもこのような業種・事業所で役立ちます。

自動車製造業、機械工業、化粧品業、農業(農薬・肥料)、福祉医療関係施設、研究機関、教育機関、ビル管理業務、防火管理業務、警備業務、デパート、スーパーマーケット、大型量販店、ホテル・旅館、消防、警察、自衛隊、油槽所、トラックターミナル、駐車場、倉庫業、運送業、内装業、クリーニング業、鉄道等

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により青森県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験日程：全試験日とも甲種、乙種全類及び丙種の試験を実施します。

試験日	受験地	試験会場	駐車場	願書受付期間 書面・電子申請	合格発表予定日
6月7日(土)	八戸市	ユートリー	有(有料)	4月24日(木) 5月8日(木)	6月25日(水)
6月8日(日)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		6月26日(木)
6月14日(土)	十和田市	十和田工業高等学校	無		7月2日(水)
	むつ市	プラザホテルむつ	有		7月3日(木)
6月15日(日)	五所川原市	五所川原第一高等学校	有		7月9日(水)
6月21日(土)	弘前市	弘前工業高等学校	有		7月10日(木)
	八戸市	ユートリー	有(有料)		
6月22日(日)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		
8月30日(土)	弘前市	弘前工業高等学校	有	7月15日(火) 7月22日(火)	9月18日(木)
	八戸市	ユートリー	有(有料)		9月19日(金)
8月31日(日)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		
11月1日(土)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)	9月24日(水) 10月1日(水)	11月20日(木)
	八戸市	ユートリー	有(有料)		11月27日(木)
11月8日(土)	弘前市	弘前東高等学校	無		11月28日(金)
	十和田市	十和田工業高等学校	無		12月4日(木)
11月9日(日)	五所川原市	五所川原第一高等学校	有		
11月15日(土)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		
	八戸市	ユートリー	有(有料)		
	むつ市	プラザホテルむつ	有		
令和8年 1月24日(土)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)	12月8日(月) 12月15日(月)	令和8年 2月12日(木)
	八戸市	ユートリー	有(有料)		
1月31日(土)	弘前市	弘前東高等学校	無		2月19日(木)
	八戸市	ユートリー	有(有料)		

注意事項について

- ① 1試験日1種類のみ受験できます。ただし、条件付きで乙種を複数種類受験が可能です。(6ページ参照)
異なる試験日であれば年度内の試験を何度でも受験可能です(試験日ごとに願書の作成が必要です)。
- ② 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- ③ 高等学校の敷地内は禁煙です。その他の会場では、喫煙所をご利用ください。
- ④ 合格発表は、合格発表予定日より**早まる場合**があります。
- ⑤ 受験申請者数が試験会場の**収容人数を超えた場合**は、試験時間を午前と午後に分けて実施又は別の試験日、試験会場を設けて実施する場合があります。(受験者の希望による時間や会場指定はお受けできません。)
また、**受験申請者数を定員制とし、受付期間であっても願書受付を締め切らせていただく場合があります**ので変更等がありましたらホームページ等でお知らせいたします。
なお、青森県支部が**指定する時間及び会場を間違えた場合は、受験できません**ので、受験票が届きましたら、必ず「試験日時」及び「試験会場」欄を確認の上、試験会場へお越しください。
- ⑥ **迷惑・無断駐車等について**
・試験会場周辺のコンビニ・店舗等への無断駐車について、苦情が寄せられています。無断駐車については、**試験実施中であっても車を移動していただきます。この場合は、再入場できません。**
また、営業妨害により警察に通報されたり、違法駐車によりレッカー移動されたり等、事故や駐車に関するトラブル等について、当センターは一切責任を負いませんので、**絶対に違法・迷惑・無断駐車はしないでください。**
・駐車場「有」となっている試験会場は、全て台数制限があります。大変混み合いますので、公共交通機関をご利用ください。なお、駐車場は受験者用に確保している駐車場ではありませんので、満車の場合は、各自の責任において他の有料駐車場を確保してください。※駐車に関する問い合わせは試験当日応じられません。
駐車場が確保できず、試験時間に間に合わなかった場合でも、当センターでは一切責任を負いません。
また、有料駐車場を使用する場合は、駐車料金は全て自己負担となります。※駐車券の割引券等の発行はされません。

甲種試験・・・受験資格が必要です。(P19のお知らせもご確認ください。)

- (1) マークシートを使う筆記試験です。甲種は5肢択一式で行います。
 (2) 試験科目、問題数及び試験時間(甲種試験には試験科目の免除はありません。)

試 験 科 目 () 内は略称	問題数	合 計	試験時間
① 危険物に関する法令 (法令)	15問	45問	2時間 30分
② 物理学及び化学 (物化)	10問		
③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	20問		

- (3) 受験資格を証明するための書類は、下表の「証明書類」欄を参照し、提出してください。

	対 象 者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	願書資格欄 記入略称	証明書類 ※全てコピー可
[1]	大学等において化学に関する学科等を卒業した方(専門職大学の前期課程を修了した方) (P.16の別表1参照)	① 大学、短期大学、高等専門学校、専修学校(備考②) ② 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ③ 高等学校・中等教育学校の専攻科 [1]、③で示す専攻科は、上記学校を卒業後に当該学校等で履修する修業年限2年以上のものをいう。 ④ 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 ⑤ 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書又は卒業証書・学位記(学科等の名称が明記されているもの)
[2]	大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (P.17~P.18の別表2参照)	① 大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院、専門職大学院、専修学校(備考②) ② 高等専門学校の専門科目 ③ 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ④ 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書(P.18の書式例2参照)又は成績証明書(修得単位が明記されたもの)
[3]	乙種危険物取扱者免状を取得している方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状及び実務経験証明書
		次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状を取得している方 ① 第3類(必須) ② 第5類(必須) ③ 第1類又は第6類のうちどちらか一つ ④ 第2類又は第4類のうちどちらか一つ	4種類	乙種危険物取扱免状
[4]	修士・博士の学位を取得している方 (P.16の別表1参照)	修士・博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方(外国の同学位含む。)	学 位	学位授与証明書、学位記、修了証書又は修了証明書 (学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)

【備 考】

- ① 受験願書 A 面の「甲種受験資格」欄に上表の「願書資格欄記入略称」を記入してください。
- ② 上記[1]と[2]の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1,700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要です。ただし、証明書類に次の内容が記載されている場合は不要です。
 - ・専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
 - ・専門課程の修業年限が2年以上、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1,700時間以上であることを証明する書面(P.18の書式例1参照)
- ③ [2]の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。放送大学も同様に算定できます(P.18の書式例2参照)。また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- ④ [3]の「実務経験証明書」は、事業主等の証明です。受験願書 B 面(裏)の様式を使用してください。
- ⑤ 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格がある場合があります。詳細はお問い合わせください。

乙種試験・・・受験資格はありません。どなたでも受験できます。

(1) マークシートを使う筆記試験です。乙種は5肢択一式で行います。

(2) 試験科目、問題数及び試験時間

試 験 科 目 () 内は略称	問題数	合 計	試験時間
① 危険物に関する法令 (法令)	15問	35問	2時間
② 基礎的な物理学及び基礎的な化学 (物化)	10問		
③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10問		

(3) 試験科目の免除

既に乙種危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は試験科目の「法令」・「物化」の全部が免除になります。

また、第1類又は第5類の受験者で**火薬類免状を取得している方は申請により**、「物化」及び「性消」の一部が免除になります。免除資格がある方は、受験願書の科目免除欄に記入し、**免状のコピー**を提出してください(一部免除については、免除を受けた問題は点数加算されません。)

免 除 資 格 者	試験種類	試験科目(略称)	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を取得している方	第1類 第6類	① 法令	全部免除	0 問	10問	35分
		② 物化	全部免除	0 問		
		③ 性消		10問		
火薬類免状を取得しており、 科目の一部免除を申請する方	第1類 第5類	① 法令		15問	24問	1時間 30分
		② 物化	一部免除	4 問		
		③ 性消	一部免除	5 問		
乙種危険物取扱者免状及び 火薬類免状を取得しており、 科目の免除を申請する方	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0 問	5問	35分
		② 物化	全部免除	0 問		
		③ 性消	一部免除	5 問		

備考 火薬類免状とは、次の免状を意味します。

- ◇ 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法)
- ◇ 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法)

※同じ試験日での乙種複数受験について

すでに**乙種危険物取扱者免状を1種類でも取得している方**(危険物取扱者免状と火薬類免状の両方取得している方を含む。)は、乙種試験を1日3種類まで同時に受験できます。

ただし、第4類を除く第1類・2類・3類・5類・6類のみ複数受験ができます。

【試験時間】乙種を2種類受験の場合…1種類35分(科目免除有り)×2種類=1時間10分

乙種を3種類受験の場合…1種類35分(科目免除有り)×3種類=1時間45分

乙種複数受験希望者で、書面申請者は、試験種類ごとに受験願書を作成してください。

2種類受験であれば2枚、3種類受験であれば3枚の種類ごとの願書が必要です。

電子申請者は、お申し込みの際に「複数受験を追加で申請する」を必ず選択してください。

丙種試験・・・受験資格はありません。どなたでも受験できます。

(1) 試験の方法…マークシートを使う筆記試験です丙種は4肢択一式で行います。

(2) 試験科目、問題数及び試験時間

試 験 科 目 () 内は略称	問題数	合 計	試験時間
① 危険物に関する法令 (法令)	10問	25問	1時間 15分
② 燃焼及び消火に関する基礎知識 (燃消)	5 問		
③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10問		

(3) 試験科目の免除

下表の免除資格者に該当する方は、試験科目の「燃消」の全部が免除になります。

科目免除を希望する方は、次の2つの証明書類が必要です。

① 5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類(消防団長又は市町村長が証明するもの。コピー可)

② 消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類(消防学校長が証明するもの)

免 除 資 格 者	試験科目(略称)	免除内容	問題数	問題数	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、 消防組織法第51条第4項の消防学校の教育 訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を 修了した方	① 法令	全部免除	10問	20問	1時間
	② 燃消		0 問		
	③ 性消		10問		

合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験はいずれも、試験科目ごとの正答率がそれぞれ60%以上必要です。

(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。)

なお、乙種第1類又は第5類の受験者で、火薬類免状による試験科目の一部免除を受けた場合は、免除されていない問題数で上記の基準を満たした方が合格となります。

【例示】(性消の場合)

	問題数	備 考
甲種受験者の場合(すべて免除科目なし)	20 問	正答 12 問で正答率 60%達成
免除科目なしの乙種受験者と乙種既得免状あり受験者の場合	10 問	正答 6 問で正答率 60%達成
火薬類免状による試験科目の一部免除を受ける場合	5 問	正答 3 問で正答率 60%達成

試験手数料：払込みされた試験手数料はお返しできません。

試験手数料
(消費税非課税)

甲 種	乙 種	丙 種
7,200円	5,300円	4,200円

- ・年度途中であっても、試験手数料が変更となることがありますので、当センターホームページで確認するか、青森県支部へお問い合わせください。
- ・試験手数料を払い込み後、都合により受験できない場合や、試験当日に欠席した場合でも払い込みされた試験手数料はお返しできません。
- ・払込み方法は電子申請と書面申請で異なります。詳しくは、それぞれの「受験の申込み」にある払込み方法をご確認ください。(電子申請は P8、書面申請は P11～12 を参照)

受験の申込み：書面申請と電子申請の2通りの方法があります。

書面及び電子申請の注意事項

- ・書面申請は受付締切日以降、電子申請は申請の受付完了以降は、申請内容(試験日、試験種類、受験地、科目免除)の変更及び申請の取消しはできません。
- ・同一試験日に、書面申請と電子申請で重複して申請すること及び同じ種類の試験を2回以上受験することはできません。

1 電子申請：一般財団法人消防試験研究センターホームページから申請(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>)

受付時間は、受付開始日の 9 時 00 分から締切日の 23 時 59 分までとなります。(24 時間対応。ただし、毎週土曜日午前 3 時～午前 5 時はシステムメンテナンスのため申請不可。)

証明書類が必要な試験を電子申請により申し込むと、証明書類のデータファイルをアップロードするための URL が記載されたメールが届きます。案内に沿ってアップロードしてください。

電子申請をするにあたっての主な留意事項 (以下の内容を必ず確認してください。)

- ① パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、当センターのホームページから受験票(PDF)をダウンロードして自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること。
- ② 資格の証明書類等を添付する必要がある申請の場合は、**審査結果等を通知する当センターからのメールを必ず受信できるようにしておくこと。**
証明書類に不備があった場合は差し戻しますので、必ずメールを確認してください。
- ③ 資格の証明書類等は PDF 又は、JPEG 形式のファイルを準備すること。
※証明書類が旧姓で現在の姓と一致しない場合、新旧の氏名が確認できる書類を証明書類と併せてアップロードしてください。(例：運転免許証(旧姓記載)、戸籍抄本、住民票等)
- ④ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと。
電子申請には、免状番号(免状の写真下に記載されている 12 桁の番号)の入力が必要です。
免状番号のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面で申請してください。

詳しくは一般財団法人消防試験研究センターホームページの「電子申請に関する Q&A」をご確認ください。

試験手数料の払込み方法(電子申請の場合)・・・別途払込手数料 230 円(消費税込み)が必要になります。
電子申請による払込み方法は、次の 4 種類から選択できます。

決 済 方 法	決 済 内 容
ペイジー (Pay-easy)	情報リンク方式、オンライン方式
コンビニエンスストア決済	セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ(一部店舗を除く。)
クレジットカード決済	VISA、マスターカード、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース
スマホ決済	PayPay、メルペイ

電子申請に関するお問い合わせ先

一般財団法人消防試験研究センター 電子申請室

専用電話：0570-07-1000(有料) 受付時間：平日 9 時 00 分～17 時 00 分



2 書面申請・・・郵送又は持参による申請

(1)申請に必要な書類

書面申請で提出する書類は下表のとおりです。

提出書類			留意点
①	受験願書		受験する種類(1種類につき1部)ごとに作成してください。また、同一日に乙種の複数受験を申請する場合は一緒に提出してください。(P.10の記入例参照)
②	払込の選択	センター所定の払込用紙を使用する	当センター指定の「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受験願書B面(表)の指定の欄にのり付けしてください。(P.11参照) ※郵便局窓口で押印される日附印があるもの。
		2次元コードを使用する	決済完了メール文中にある決済完了番号を受験願書受験願書B面(表)の指定の欄に記入してください(P.12参照)。
③	危険物取扱者免状のコピー	該当者のみ	既に危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、必ず受験願書B面(裏)の指定の欄にのり付けしてください。(P.13参照)
④	甲種受験資格を証明する書類		甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の提出が必要です。(P.5(3)参照)
⑤	火薬類免状のコピー		火薬類の免状を取得している方で、乙種第1類又は第5類の試験科目の一部免除を受ける方は、証明する免状のコピーの提出が必要です。(P.6(3)参照)
⑥	消防団員歴を証明する書類(コピー可)及び消防学校の教育修了証の写し		丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の提出が必要です。(P.7(3)参照)

※青森県支部で受理された願書等の申請書類は返却できません。

なお、内容に不備のある願書等及び受付最終日を過ぎた後に提出された願書等は受理できませんので、この場合、提出された申請書類を返却いたします(返却費用は本人負担になります)。

(2)願書提出先

◇青森県で受験を希望する方

提出場所	
〒030-0861 青森県青森市長島2-1-5 みどりやビル4階 一般財団法人 消防試験研究センター青森県支部	
持参による提出	郵送による提出
9時00分～17時00分 (土日祝日、年末年始を除く。)	郵便局窓口で郵送手続きをしてください。 封筒に受付最終日の消印があるものまで受け付けします。

注1) ポストに投函した場合、郵便局の集配時間の都合上「受付最終日の消印が押されていない」又は「郵便料金不足により差出人に返送」のため受付できないことがあります。

注2) 普通郵便の場合、不着によるトラブルが起きる可能性があるため、配達状況が確認できる「簡易書留郵便」か「特定記録郵便」をお勧めします。なお、不着によるトラブルについては、当センターでは一切責任を負いません。

◇青森県以外で受験を希望する方

受験願書及び当センター所定の払込用紙は全国共通です。受験願書等の書類は、受験を希望する道府県支部(東京都は中央試験センター)に提出してください。その他ご不明な点については、当センターホームページをご確認ください。

(3) 試験手数料の払込み方法(書面申請の場合)

①センター指定の払込用紙による方法…別途払込手数料がかかります。(P11参照)

②2次元コードによる方法…決済手数料は230円(消費税込み)が別途発生します。(P12参照)

受験願書A面(1枚目)の記入例

注意事項

- 1 受験願書は必ず**受験者本人**が記入してください。
- 2 B面は切り離さず、2枚重ねて丁寧に記入してください。
- 3 書き損じた場合は、横2本線を引いて、その上方に正しく書いてください。
- 4 **住所は受験票の送付先**を記入してください。

左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されているパスポートに記載されているアルファベット氏名を記載してください。

青森県支部に受験を申請する方は『青森県』と記入してください。

危険物取扱者試験受験願書(全国共通)

濁点、半濁点は1マス使用してください。

マスが不足する場合は、郵便(受験票)が届く程度に適宜省略してください。

試験日を記入してください。

試験種類を記入してください。

P.4を確認し記入してください。

甲種を受験される方は「願書資格欄の記入略称」(P.5参照)を記入してください。

火薬類免状を取得している方で「受ける」に○を付けた場合は、火薬類免状のコピーを受験願書B面(裏)の「各種証明書等貼付欄」にのり付けしてください(乙種第1,5類の受験者のみ)。

2種類以上の受験者は、それぞれの受験願書に他の種類を記入してください(同時に複数の試験を受験する方のみ該当)。

危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。

危険物取扱者免状を取得している方はすべて記入してください。

申請する日を記入してください。

外国の方は『外国籍』と記入してください。

日中連絡が取れる電話番号を記入してください。

受験願書B面(裏)の「都道府県等コード表」を参照し、それぞれコードを記入してください。

3ヶ月以内に他の道府県で受験した場合は記入してください。

主となるものに○を付けてください。

危険物取扱者免状を取得している方は、免状番号(免状写真下の番号)を必ず記入してください。

一般社団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名 青森県		申請日 令和 00 年 00 月 00 日	
申請者氏名 シウホウ		氏名 消防		フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください。	
生年月日 60 年 07 月 10 日生		本籍 青森		都道府県コード 02	
郵便番号 030-0861		必ず記入してください		自宅電話番号又は携帯電話番号 017-722-1902	
住所 青森県青森市長島		勤務先または学校名 青森石油(株)		連絡先電話番号(携帯電話も可) 090-0000-xxxx	
試験日 令和 00 年 00 月 00 日		試験種類 甲種 第 1 類		メールアドレス(任意) shoubou-taro@shoubo-shiken.or.jp	
受験地 青森市		甲種受験資格 受ける		他の都道府県での受験申請状況	
科目免除 受ける		火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を 受ける		試験日	
同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること		乙種危険物取扱者免状の交付を 受ける		試験日	
免状取得の有無について記入してください		免状番号 1024 1234 5678		該当する職業等に1つだけ○を記入してください	
取得している危険物取扱者免状は全部記入してください		※国コード		※1 高校生	
危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください		※交付機関コード		※2 ①以外の学生、教育・研究機関	
危険物取扱者免状を取得している方はすべて記入してください		※分コード		※3 公務員	
				※4 ガソリンスタンド	
				※5 化学工業	
				※6 危険物の卸売業、小売業	
				※7 危険物の運送業	
				※8 危険物を扱うその他の事業	
				※9 公務員	
				※10 警備員	
				※11 ビル管理業	
				※12 その他	

メールアドレスをお持ちの方は記入してください。
 なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、中央試験センターからのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定を行ってください(ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp)。

①払込用紙による払込みの場合 【センター所定の払込用紙記入例】

試験手数料は、(一財)消防試験研究センターのホームページ又は各都道府県支部の窓口で確認してください。



手数料確認用2次元コード
※この2次元コードから手数料の払込みはできません。

郵便局（ゆうちょ銀行）窓口用用紙

- 受験願書内の2次元コード経由で決済した場合は、この用紙は使用しないでください。
- 手数料は、必ず郵便局（ゆうちょ銀行）の窓口で払い込んでください。
- この用紙でATM（現金自動預払機）による払込みは、行わないでください。
金額の訂正は無効ですので、左記の2次元コード等でよく確認して記入してください。
- 誤った金額を記入してしまった場合は、新しい払込用紙に記入しなおしてください。
- 受験願書（B面）には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書」（お客さま用）を貼ってください。
- 本人控えである「振替払込請求書兼受領証」は、ご本人が大切に保管してください。

※ 試験手数料は、非課税です。



ATMはダメ!

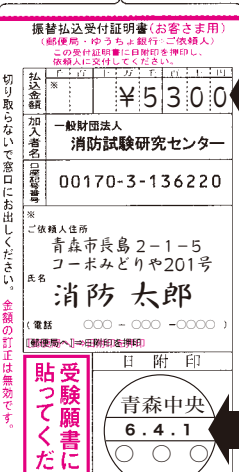
郵便局・ゆうちょ銀行で回収されます



本人控え



受験願書に貼付する部分



払込金額を間違わずに記入してください。
※金額を訂正した場合は無効。

払込後、日附印が押されているか確認してください。

(B面)

試験願書

試験受験願書

申請日	年 月 日
本籍	都道府県
宅電話番号 は携帯電話番号	
勤務先または学校名	
連絡先電話番号（携帯電話も可）	
内線	

※1 ここに「振替払込受付証明書」を貼ってください。

※2 甲種は¥7,200
乙種は¥5,300
丙種は¥4,200 (P8参照)

※3 振替払込受付証明書（お客さま用）
郵便局・ゆうちょ銀行・ご依頼人
この受付証明書に日附印を押印し、
依頼人に交付してください。

※4 一般財団法人
消防試験研究センター
00170-3-136220

※5 ご依頼人住所
青森市長島2-1-5
コーポみどりや201号

※6 氏名
消防 太郎
(電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇)

日附印
青森中央
6.4.1

※受付欄

郵便局の日附印がないもの、金額の記入がないものは受付できません。

金額の訂正は無効ですので、新しい払込用紙をお使いください。

・試験案内と一緒に渡された払込用紙の金額欄に受験する種類に応じた試験手数料をご記入の上、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口でお支払いください。※所定の払込手数料が必要になります。

お支払い後、「振替払込請求書兼受領証」と「振替払込受付証明書（お客さま用）」の2枚を受け取り、振替払込受付証明書に日附印が押印されていること確認の上、受験願書B面に貼ってください。同じ試験日の乙種複数受験や、同じ受付期間内で複数の試験日を受験される場合でも試験手数料を一括して合計金額を払込みすることも可能です。

その場合、受験する種類のいずれかの願書に貼ってください。

例：乙種を2種類受験→10,600円、3種類受験→15,900円など

※注意事項

「振替払込受付証明書（お客様用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書（お客様用）」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みした後で、紛失した「振替払込受付証明書（お客様用）」を発見し提出したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

②2次元コードによる払込みの場合 (B面)

◎2次元コード経由で払込みの場合

※令和7年4月1日からご利用いただけます。

左記の2次元コードで手数料の払込みができます。



- ・2次元コードで手数料を払込む場合は、同封されている払込用紙は使用しないでください。
- ・2次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。
- ・この願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。必ずこの2次元コードを使用してください。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア
ペイジー、PayPay、メルペイ

決済完了番号 (18桁)

※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

		-															
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

氏名		
(電話)	-	-
[郵便局へ]⇒日附印を押印		
日附印		
貼って ください 受験願書に		
日附印なき証明書は無効 (払込人⇒消防試験研究センター) (承認番号東証第2015号)		
※受付欄		

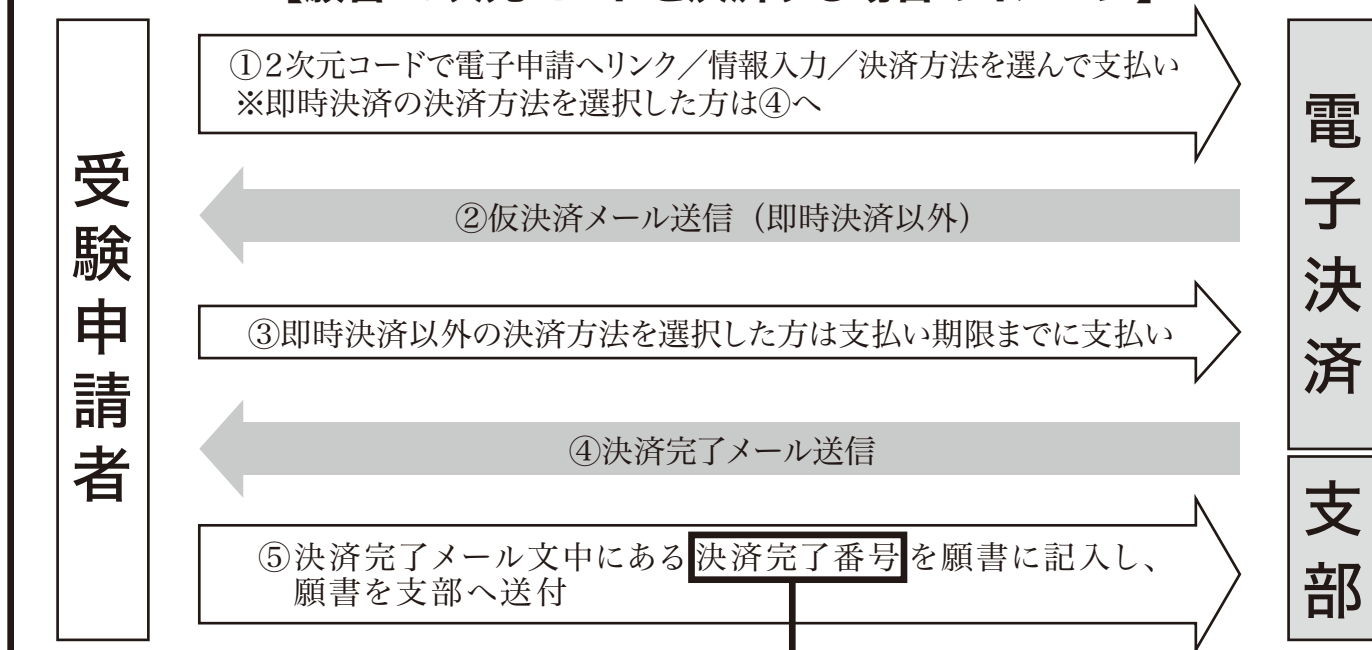


願書識別番号：●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

※受験番号

受験願書に印字されている2次元コードを読み取ることで、電子申請者と同様の払込みができます。
払込み方法はP8の1にある電子申請による払込み方法の4種類になります。

【願書2次元コードを決済する場合のイメージ】



決済後に、2次元コードを読み込んだ又は使用した識別番号の受験願書B面にある決済完了番号(18桁)を記入する欄に、必ず番号を入力してください。決済状況を確認したい場合は、使用した2次元コードを再度読み込み、申請内容情報を入力することで、決済状況を確認することができます。

領収書をご希望の方は、電子申請システムトップから領収書をダウンロードしてください。(試験日翌日から可能)

※注意事項

- ・決済者と書面申請者を合致させることから、願書B面に印字されている2次元コードと1次元バーコードは、願書識別番号で紐づいているため、願書ごとで識別番号が異なります。
そのため、1枚の受験願書の2次元コードを使用し、決済した場合は別の願書を使用することはできません。
- ・多重決済防止のため、1枚の受験願書に印字された2次元コードを経由して決済画面まで進んだ後に、決済に失敗した場合(タイムアウト、中断)又は決済完了した場合、その2次元コードは再利用することができません。
そのため、2次元コードを使用した願書は破棄し、新たな願書を入手した上で、新しい2次元コードを使用するか、センター指定の払込用紙による払込み方法(P11参照)で試験手数料をお支払いください。

(B面裏)

各種証明書等貼

この部分にのりづけして貼付し

各種証明書等をこの部分にのり付けしてください。

都道府県等コード表

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25	鳥取	3
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	京都	26	島根	1
岩手	03	栃木	09	新潟	15	岐阜	21	大阪	27	岡山	3
宮城	04	群馬	10	富山	16	静岡	22	兵庫	28	広島	2
秋田	05	埼玉	11	石川	17	愛知	23	奈良	29	山口	3
山形	06	千葉	12	福井	18	三重	24	和歌山	30	徳島	3

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇年 〇月 〇日生		
取り扱った危険物	第 4 類	品名 ガソリン、灯油、軽油	
取り扱った期間	〇〇年 〇月 〇日から 〇〇年 〇月 〇日まで (〇年 〇月)		
製造所等の区分	・製造所 ・貯蔵所 ・取扱所		
上記のとおり相違ないことを証明します。 証明年月日 年 〇月 〇日			
事業所名	〇〇〇〇株式会社		
証明者 役職	代表取締役		
氏名	〇〇 〇〇 〇〇		
電話	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		

甲種
各種
り、
い。
第2号

危険物製造所等における実務経験2年以上で甲種を受験する方のみ必要です。

該当するものに○をつけてください。

事業所(会社等)の印

証明者の役員印又は印

両方
必要です。

既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄

危険物取扱者講習の状況		
終了年月日	講習実施機関	証印
〇〇〇〇	青森県	青森県知事
(備考)		

危険物取扱者免		
氏名	生年月日	平成〇〇年〇月〇日
種類等	交付年月日	交付番号
甲種		
乙種1類		
乙種2類		
乙種3類		
乙種4類		
乙種5類	〇〇〇〇	〇〇〇〇
乙種6類		
丙種	〇〇〇〇	〇〇〇〇

危険物取扱者免状を取得している方はコピーを貼ってください。
(表面に記載事項のある場合は裏面のコピーも貼ってください。)
※氏名、本籍に変更がある方は速やかに書換えしてください。

受験票及び写真：受験票は必ず内容を確認し、写真を貼って試験当日持参してください。

受験票の送付	書面申請	郵便はがき(圧着式はがき)で、試験日の約10日前までに郵送します。 受験票が届かない場合や、紛失した場合は、試験日前の平日9:00~17:00までに青森県支部へ連絡してください。
	電子申請	試験日の約10日前までに申請時に入力されたメールアドレスに「受験票印刷可能メール」を送信します。申請者本人がダウンロードして受験票をA4用紙に印刷してください。メールが届かない場合は電子申請室へお問い合わせください。

注)・氏名・住所等に誤り又は変更がある場合

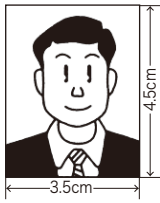
試験当日に試験監督員が修正用紙を渡しますので、正しい内容を記入し提出してください。

・試験の種類・免除科目に誤りがある場合

試験日前の平日9:00~17:00までに青森県支部へ連絡してください。

なお、申請者が記載・入力を誤っていた場合のものや、試験当日の申し出には応じられません。

危険物取扱者試験 受験票



受験番号	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名		
氏 名		
試験日時	年 月 日 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始	
試験会場 (試験室)		
免除科目	資格判定 コード	
既得免状		

写真について

- ・試験日前の6か月以内に撮影した縦4.5cm×横3.5cmの大きさと枠なしの鮮明な写真を貼ってください。
- ・正面・無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）・無背景・上三分身像で髪が目にかからず、サングラスはかけないで撮影してください。
- ・デジタル写真は写真専用用紙に印刷(プリント)したものに限りします。
- ・写真はセロハンテープで貼らず、のり付けしてください。
- ・写真は本人確認及び合格後の免状作成の際に使用します。

複数受験者の方は「座席番号」が印字されます。

氏名を記入してください。

試験当日は受験票に記載されている試験室を確認し、指定された試験室へ入室してください。

※受験票(控)は、合格発表の確認に必要です。また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることもできますので、大切に保管してください。

試験当日の持ち物及び注意事項

試験当日の持ち物… ①顔写真を貼った受験票 ②HB又はBの鉛筆又はシャープペンシル ③消しゴム
④腕時計(時間確認用) ⑤上履き及び外履き入れ(会場が高等学校の場合)
⑥顔写真付き身分証明書(必要に応じて係員から運転免許証等の提示をお願いする場合があります。)

注意事項

- ・全試験日・全試験種類とも、試験室への集合時間は**午前9時30分**、試験開始時刻は**午前10時00分**です。
- ・本人確認のできる鮮明な写真を貼付した受験票を持参しないと受験できません。
- ・試験中は、HB又はBの鉛筆、シャープペンシル、消しゴム以外は使用できません。
なお、時間確認のための腕時計の使用は認めます。(会場によっては掛時計がありません。)
- ・携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。(これらの電子機器類を時計として使用することはできません。)
- ・試験会場が高等学校の場合は、土足禁止のため、必ず上履き(スリッパ等)と外履き入れをご持参ください。
スリッパ等の貸し出しは行っておりません。
- ・試験会場内(高等学校会場は校内、その他会場は試験室内)の写真及び動画撮影は**禁止**です。
また、試験会場内の写真や動画をウェブサイト・SNS等に投稿しないでください。
投稿された内容により、試験会場側と訴訟等のトラブルがあった場合でも、当センターは一切関与しません。
- ・試験会場周辺での特定業者によるチラシ等の配布、試験結果通知の有料サービスは、当センターとは関係ありません。

試験結果通知及び合格後の手続き

1 試験結果通知

合格発表日には、合格者の受験番号を青森県支部掲示板に掲示するほか、当日正午から当センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)にも掲示します。

また、受験者全員に、試験結果通知書(圧着ハガキ)を郵送します。(欠席した場合は届きません。)

なお、試験結果、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

2 合格後の手続き

試験に合格した方は、次の(1)～(4)をご用意のうえ、郵送又は持参により免状交付申請をしてください。

なお、試験日から6か月以上経過後に申請する場合は、最新の顔写真を1枚添付してください。

(1) 免状交付申請書及び試験結果通知書(この2つは切り離さないでください。)

印字された内容(住所、氏名、生年月日等)に誤りがある場合は、余白に赤字で正しい内容を記入してください。

また、すでに免状をお持ちの方で氏名・本籍・生年月日の変更や免状に旧姓記載を希望の場合は、新規交付申請と同時に申請ができます。

※戸籍抄本又は、本籍、旧姓が記載された住民票等が必要です。

(2) 免状交付手数料

免状交付には免状交付申請書1枚につき **2,900 円分の青森県収入証紙**がかかります。証紙は免状交付申請書の裏面に貼ってください。

※注意事項

①交付申請書を同時に複数枚申請することもできますが、その場合は交付手数料を合算せずに、それぞれの交付申請書に2,900円分の青森県収入証紙を貼ってください。

②交付手数料2,900円分以外の金額の青森県収入証紙を貼らないでください。

③青森県収入証紙は、青森県支部では取り扱っていません。販売先については支部へお問い合わせいただくか、青森県庁ホームページで県内の「証紙売りさばき人一覧」をご覧ください。

(3) 新規免状送付用封筒(下図参照)

新たに交付された免状を郵送希望の方は、定形封筒の表面に日中確実に郵便物を受け取れる住所・氏名を記入し、簡易書留郵便料(※)の切手を貼ってください。

※2025年4月1日現在460円(50グラム以内)。

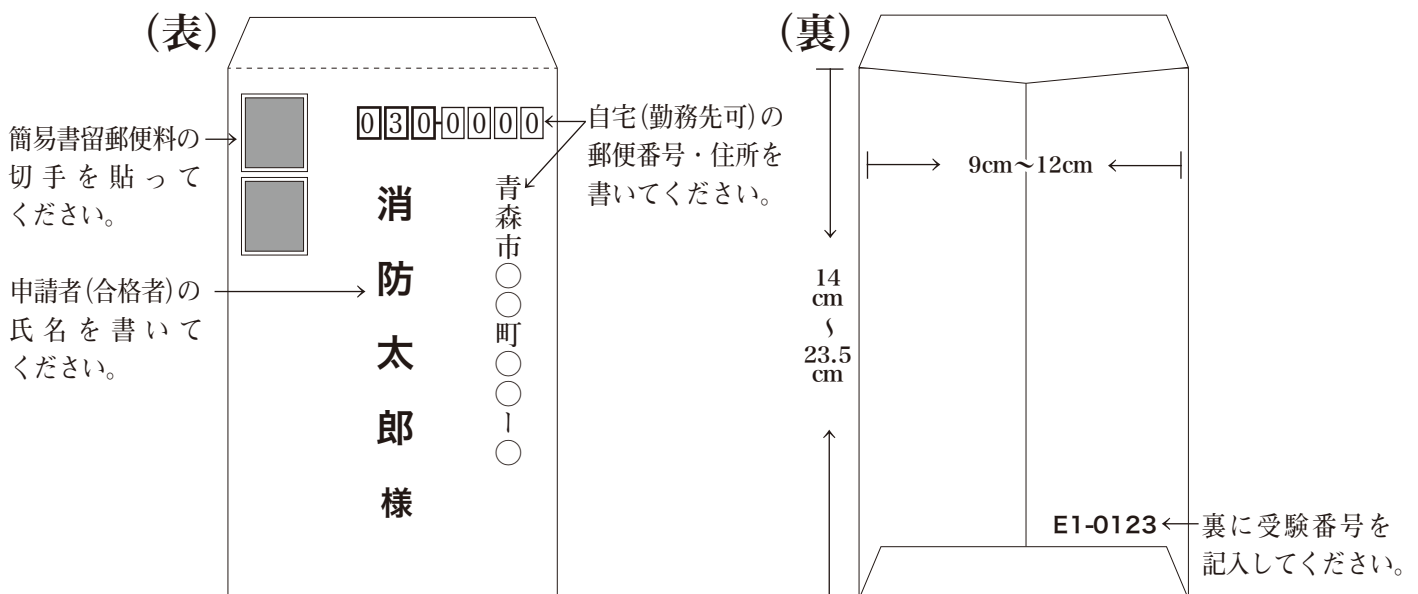
裏面には受験番号を記入してください。なお、同じ方が複数枚申請する場合、封筒は1枚で結構です。

※会社等で一括で免状返送希望される場合は、枚数による重さで郵便料が変わりますので、支部へお問い合わせください。

(4) 既得危険物取扱者免状

すでに危険物取扱者免状をお持ちの方は、必ず免状交付申請書と一緒に提出してください。

※免状送付用封筒の作成例 (「運転免許証」サイズが入る程度の大きさの定形封筒)



別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程は認められます。
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 学科の名称にかえて「部門」又は「専攻」等の名称を用いるものは、学科又は課程とみなします。
- 3 次の表に示す学科又は課程等

あ	安全工学科	さ	材料開発工学科	そ	総合薬学科
い	医療薬学科		材料科学科		総合薬品科学科
え	衛生薬学科		材料科学工学科		素材工学科
お	応用原子核工学科		材料加工学科	と	塗装科
	応用生物科学科		材料学科	は	醗酵(発酵)工学科
	応用生物工学科		材料機能工学科		醗酵(発酵)生産学科
	応用生命科学科		材料工学科	ふ	物質科学科
	応用生命工学科		材料物性学科		物質科学工学科
	応用微生物工学科		材料物性工学科		物質工学科
か	環境生命科学科		材料プロセス工学科		物質生物科学科
	環境物質工学科	し	色染工芸学科		物質生物工学科
	環境マテリアル学科		資源工学科		物質生命工学科
き	基礎理学科		資源素材工学科		物質生命システム工学科
	機能高分子学科		システム量子工学科		物質分子科学科
	機能高分子工学科		食品科学科		物質分子学科
	機能材料工学科		食品学科		物質理工学科
	機能物質科学科		食品工学科		プロセス工学科
	機能分子工学科		食品工業科学科		分子工学科
	金属加工学科		食料科学科		分子システム工学科
	金属学科		森林資源科学科		分子生物学科
	金属工学科	せ	製剤学科		分子生命科学科
	金属材料学科		製糸学科	ま	マテリアル科学科
	金属材料工学科		製造薬学科		マテリアル工学科
け	原子工学科		生体機能応用工学科	む	無機材料工学科
	原子力科		生体物質工学科	や	冶金学科
	原子力工学科		生体分子工学科		冶金工学科
	原子炉工学科		生物応用工学科		薬科学科
こ	工業材料科		生物機能工学科		薬学科
	厚生薬学科		生物工学科		薬剤学科
	高分子学科		生物資源科学科		薬品科学科
	高分子工学科		生物資源利用学科	ゆ	有機材料工学科
	高分子材料工学科		生物生産科学科	よ	窯業工学科
			生物分子科学科	り	林産学科
			生物薬学科		林産工学科
			精密素材工学科		
			精密物質学科		
			生命理学科		
			製薬学科		
			繊維工学科		
			繊維高分子工学科		

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例)進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

あ	アモルファス物性工学 安全管理工学 安全工学 安全防災工学	け	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	さ	細胞培養学 材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水处理	せ	製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセシング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	た	耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学
い	移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学							ち	超高温材料 調剤学
え	衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロセラミックス エレクトロニクス材料工学	こ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学	し	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論		て	鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学	
お	応化・プロセス工学							と	同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学
か	回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学 環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論			す	水質学		そ	相平衡論 相変態論 素材工学	
き	機器分析 機能高分子学 機能性高分子材料学 機能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 機能セラミック論 凝固論及び結晶生成 金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性								

に ね	ニューセラミック特論		ひ	非金属材料	ふ	プロセス工学	ま	膜機能工学	ゆ	有機機器分析
	燃烧学			非晶質科学		プロセスシステム工学		マテリアル工学		有機機能性材料
	燃烧工学			微生物遺伝学		プロセス制御工学	み	水処理工学		有機金属
	燃烧熱工学			微生物学		プロセスダイナミックス		水処理実験		有機構造解析
	燃烧物理科学			微生物機能学		プロセス熱力学		水の分子工学特論		有機材料工学
	粘土工学			微生物工学		分光分析	む	無機材質学		有機材料工業論
	燃料工学			非鉄材料科学		分散系物性学		無機材料工学		有機材料設計
	燃料工業			非平衡論		分子遺伝学		無機電子制御反応		有機材料表面科学
	燃料燃烧潤滑論			表面・界面工学		分子解析学		無機薬品製造学		有機材料物性
	燃料燃烧論			表面工学		分子機能	め	免疫薬剤学		有機材料レオロジー
の	燃料分析学			表面分析		分子機能設計学	も	木材化学		有機電解合成論
は	農薬学			肥料学		分子構造論		木材成分学		有機反応機構
	バイオテクノロジー		ふ	ファインケミカル工業分析		分子シミュレーション特論		木材糖化論		有機反応論
	バイオペロセス工学			複合材料機能学		分子情報計測学		木質材料学		有機分析学
	培養工学			腐食及び防食学		分子生物科学		木質資源化学		有機薬品製造学
	爆発工学			物質移動プロセス特論		分子生物学		木質資源工学		融体物有機材料電子物性
	薄膜材料工学			物質科学		分子設計論	や	冶金学	よ	窯業工学
	醗酵（発酵）学			物質工学		分子素材工学		冶金工学		窯炉工学
	醗酵（発酵）工学			物質構造解析論		分子熱力学		冶金反応工学	り	粒子線結晶学
	醗酵（発酵）工業論			物質構造論		分子微生物学		薬科学		量子分光学
	醗酵（発酵）生産学			物質生科学		分子薬理学		薬学		量子力学
	パルプ学			物質生物工学概論		粉体工学		薬剤学		林産学
	パルプ工学			物質プロセス工学		分離科学		薬品学		林産工学
	半導体工学			物質分析法		分離工学		薬品工業概論		林産製造学
	半導体材料			物性科学		分離システム工学		薬品製造学		林産物製造学
	半導体デバイス工学			物性予測論		分離装置工学		薬品製造工学		臨床薬学
	反応工学			物性論		粉粒体工学		薬品分析学		臨床薬理学
	反応性物質材料			物体学	へ	平衡論		薬物学	れ	レオロジー
	反応操作			物理薬学		平衡・反応論		薬用植物学		
	反応速度論			プラントエンジニアリング	ほ	放射線計測学		薬理学		
					放射線物性計測学		薬効学			

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

年 月 日 入学 科 コース

年 月 日 修了

氏名

年 月 日生

学校教育法第124条に定める専修学校として許可を受けた日及び文書番号	
年 月 日	号
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修 業 年 限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。

年 月 日

専門学校 学校長 氏名 印

《注》証明書の書式は、例の内容が記載
されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

単位修得証明書

年 月 日 入学 部 科

年 月 日 修了

氏名

年 月 日生

化学に関する 科目名	修得単位	化学に関する 科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃烧化学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年 月 日

大学 学長 氏名 印

《注》証明書の書式は、例の内容が記載
されていれば自由です。

《注》学長等が「化学に関する分野」と
認めた授業科目は、原則として、
そのまま単位として認めます。

— 甲種危険物取扱者試験を受験する方へ —

- ①過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある方は、その時の「受験票(控)」又は「試験結果通知書」(資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。)を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます(コピーでも可)。
- ②卒業証明書や単位修得証明書(成績証明書)については、願書受付期間前であっても青森県支部まで一度ご連絡の上、証明書等の写しを送付していただければ、受験資格を満たしているか事前に審査いたします。指定学科に該当しない等、受験資格を満たしていない事例が増えていますので、ご自身で判断がつかない場合、お気軽にお問い合わせください。
また、指定学科に該当しない場合には、必要単位数を修得しているかの審査に移りますので、卒業証明書を取得される方は、あらかじめ願書受付前に単位取得証明書(成績証明書)も合わせて取得することをお勧めいたします。

— 危険物取扱者免状をお持ちの方へ —

- 免状の写真は10年ごとに写真書換が必要です。今お持ちの免状の顔写真の下に表示されている期限を過ぎている方や、期限が表示されていない免状をお持ちの方は速やかに写真書換を行ってください。
- 免状に記載されている氏名・本籍・生年月日に変更や修正がある方は、速やかに書換手続きを行ってください。
- すでに免状をお持ちの方は試験合格後に免状の提出が必要になります。
免状を紛失された方は事前に再交付手続きを済ませてください。免状の提出がない場合、合格された種類の免状を交付できませんので、ご注意ください。

